

研究分野	研究領域	研究内容	担当 研究内容	研究分野 責任者	教員氏名	役職	研究指導 資格
薬学教育学 分野	高等教育研究開発領域	1 質的量的解析に基づく薬学教育プログラムの教育効果・学修成果に関する研究	1-4	◎	小林 靖奈	教授	マル合
		2 薬剤師の臨床実践能力を養成するシミュレーション教育の開発と教育効果に関する研究	2		亀井 大輔	教授（員外）	マル合
		3 薬学部におけるプロフェッショナリズム教育の質的・量的研究	3		加藤 里奈	講師	マル合
		4 薬剤師養成教育の変容とその効果	1		福村 基徳	准教授	マル合
			4		小林 文	講師	合
医薬化学 分野	医療シーズ開発学領域	1 天然抗酸化物質を基盤とする高機能性医薬シーズの開発	1,3	◎	福原 潔	教授	マル合
		2 ホウ素の特徴を利用した革新的医薬品の創製	2		太田 公規	准教授	マル合
		3 新規脂質メディエーターの創製	3		森田 将夫	講師	マル合
生体分析 化学分野	セラノステックス領域	1 セラノスティクスや医薬品の適正利用に関する分析化学研究	1	◎	加藤 大	教授	マル合
		2 診断と治療の融合を指向するナノ粒子の開発と臨床応用	2		村山 周平	講師	マル合
生物物理 化学分野	インシリコ創薬学領域	1 論理的薬物設計のための計算化学手法に関する基盤的研究	1,2	◎	合田 浩明	教授	マル合
		2 生体高分子の立体構造に基づく論理的薬物設計	1,2		早川 大地	准教授	マル合
			2		小田 友里江	助教	マル合
生物化学 分野	生活習慣病生化学領域	1 生活習慣病における脂質蓄積と組織障害	1,3	◎	宮崎 拓郎	教授	マル合
		2 細胞内脂肪滴の形成と細胞増殖	1,4		小瀨 孝士	准教授	マル合
	炎症生化学領域	3 mRNAスプライシングによるマクロファージの制御	5		森 一憲	准教授	マル合
		4 好中球細胞外DNAトラップの形成機構と組織炎症	1,2,3		牧山 智彦	講師	マル合
		5 癌悪性化・転移抑制のための分子標的探索と治療戦略の構築					
生体分子 機能修飾学分野	環境分子予防薬学領域	1 医薬品・環境因子による生体分子修飾と健康制御機構の解明	1,2,3	◎	秋山 雅博	教授（員外）	マル合
		2 硫黄代謝物を介した酸化ストレス防御と薬効・副作用制御機構の研究					
		3 化学修飾に基づく腸内細菌機能制御と薬物代謝・生体応答機構の解明					
薬理学分野	血管薬理学領域	1 生活習慣病における血管機能異常の解明および新規治療薬開発に関する研究	1,3	◎	野部 浩司	教授	マル合
	創薬薬理学領域	2 糖尿病合併症、NASH、急性腎障害、アルツハイマー病の病態解明および新規治療戦略の構築	2		柴田 佳太	准教授	マル合
	生活習慣病薬理学領域	3 糖尿病病態下における合併症および循環器系障害メカニズムの解明	4		光本 明日香	准教授	マル合
	中毒学領域	4 薬毒物による毒性発現機構の解明、臨床中毒例における中毒起因物質探索と治療評価	3		古林 創史	講師	合
生理学分野	整形外科学領域	1 変形性関節症の発生機序と予防および治療に関する研究	1-3	◎	上條 翔太郎	准教授	マル合
		2 変形性関節症の痛みの発生機序と治療に関する研究					
	リハビリテーション学領域	3 認知機能低下を改善させる運動療法に関する研究					
製剤設計学分野	薬物送達学領域	1 化学修飾を利用した標的指向型ドラッグデリバリーシステムの開発	1-3	◎	勝見 英正	教授	マル合
		2 新規抗酸化剤の体内動態制御に基づく酸化ストレス疾患治療法の構築	1		山下 修吾	講師	合
		3 難吸収性薬物の経粘膜吸収性と安全性を向上するドラッグデリバリーシステムの開発					
薬物動態学 分野	臨床分子薬物動態学領域	1 患者の薬物動態評価と効果・有害事象との関連性に関する研究	1,2	◎	杉山 恵理花	教授	マル合
	生物薬理学領域	2 新規化合物および既存薬を対象としたADME評価と動態特性の最適化	1,2		田島 正教	准教授	マル合
			1,2		齊藤 清美	講師	マル合
社会薬学 分野	社会薬学領域	1 医薬品の適正使用および医療コミュニケーションに関する質的・量的研究	1,2,3	◎	岸本 桂子	教授	マル合
		2 地域医療・保健への薬剤師の寄与および多職種連携に関する質的・量的研究	1,2,3		熊木 良太	講師	合
	薬科臨床疫学領域	3 薬局に蓄積されたデータの可視化に関する研究					
衛生薬学 分野	炎症生化学領域	1 脂肪酸代謝系への影響から見た環境化学物質の新たな毒性発現機構の解析	1,2,3	◎	原 俊太郎	教授	マル合
		2 脂肪酸代謝系の破綻と神経変性疾患、がん等の生活習慣病発症・進展との関連	1,2		桑田 浩	准教授	マル合
	毒性学領域	3 化学物質毒性および炎症性疾患における酸化ストレス防御応答系の機能解析	1,3		芦野 隆	准教授	マル合
			1,2		依田 恵美子	講師	合
薬剤疫学 分野	薬剤疫学領域	1 医療ビッグデータを利活用した臨床・薬剤疫学に関する研究	1,2	◎	今井 志乃ぶ	教授	マル合
	医療経済学領域	2 医療・医薬経済の評価に関する研究	1,2		谷 拓朗	助教	合
薬物治療学 分野	薬物治療学領域	1 薬物治療の有効性や副作用に影響を及ぼす要因の解明	1,2,3	◎	向後 麻里	教授	マル合
		2 適正な薬物治療の用法・用量設定に関する研究	1,2,3		大林 真幸	准教授	マル合
		3 薬物治療選択の適切な判断指標の探索	1,2,3		神山 紀子	講師	合
			1,2,3		里 美貴	講師	合
天然医薬 治療学分野	漢方治療学領域	1 漢方薬・民間薬の適正利用に向けた臨床薬学的研究	1-5	◎	川添 和義	教授	マル合
	医療シーズ開発学領域	2 天然薬物の臨床応用を目的とした基盤的研究	3,4,5		高山 健人	准教授	合
		3 腸内微生物叢および腸管免疫応答の変化に着目した漢方薬のレスポnder・ノンレスポnderに関する研究	2		小池 佑果	講師	合
		4 薬用植物栽培における土壌微生物叢の影響に関する研究					
		5 環境に配慮した漢方薬残渣の有効利用に関する研究					
感染制御 薬学分野	臨床感染症学領域	1 感染症治療上問題となる薬剤耐性菌の分子疫学と耐性機構に関する研究	1,2	◎	石野 敬子	教授	マル合
		2 病原細菌の病原因子に関する研究	3,4		前田 真之	准教授	マル合
		3 感染症の病態・治療に関する臨床研究					
		4 抗菌薬適正使用に関する臨床研究					
がんゲノム 医療薬学分野	がん薬物治療学領域	1 抗がん薬の個別化医療に向けた前向き臨床研究と基礎研究：効果/毒性、体内動態、及び動態/薬力関連因子の遺伝子多型の検討	1	◎	藤田 健一	教授	マル合
			1		村瀬 礼美	講師	合
			1		松本 奈都美	講師	合
臨床病態学 分野	臨床病態学領域	1 関節リウマチ治療における分子標的薬の臨床研究	1,3,4	◎	磯崎 健男	教授	マル合
		2 関節リウマチ治療における分子標的薬の基礎研究	2-7		谷岡 利裕	准教授	マル合
		3 間質性肺炎の病態解明					
		4 自己免疫疾患の病態解明研究					
		5 滑膜細胞におけるLTA4H依存的脂質メディエーター産生が炎症・線維化に果たす役割の解明					
		6 肺線維芽細胞における鉄蓄積とフェロトーンスが炎症・線維化病態に果たす役割の解析					
		7 ミトコンドリアコピー数・cf-mtDNAを用いたアスリートコンディショニング評価バイオマーカーの探索					
臨床栄養 代謝学分野	臨床栄養代謝学領域	1 栄養状態が薬物代謝に与える、あるいは薬物の栄養状態への影響に関する研究	1,3,4	◎	千葉 正博	教授	マル合
		2 各種微量元素製剤・ビタミン剤の代謝経路と欠乏についての検討	2,3,4		唐沢 浩二	准教授	マル合
		3 栄養代謝が各種病態に与える影響に関する臨床研究					
		4 栄養サポートチームの介入効果に関する研究					
臨床研究 開発学分野	臨床研究開発学領域	1 小児の服薬アドヒアランス向上を目指した製剤設計と評価に関する研究	1-10	◎	肥田 典子	教授	マル合
		2 服薬補助食品・健康補助食品と医薬品の相互作用に関する研究	2,3,5		山崎 太義	講師	マル合
		3 疾患特性を考慮した服薬支援ツールの開発と臨床応用に関する研究	2,3,5		滝 伊織	講師	合
		4 診療情報ビッグデータを用いた医療疫学研究					
		5 治験に対する市民・患者の意識とPPI（患者・市民参画）の倫理的妥当性に関する研究					
		6 経管・経腸栄養患者のための製剤設計と薬物送達システムの最適化に関する研究					
		7 糞便移植のための大腸デリバリー製剤の開発と機能評価に関する研究					
		8 個別化製剤の設計と製造法の開発に関する研究					
		9 口腔内適用製剤の開発と生体内動態評価に関する研究					
		10 食物アレルギー治療のための標準化経口負荷試験・減感作療法用製剤の開発と臨床的有用性評価に関する研究					

研究分野	研究領域	研究内容	担当 研究内容	研究分野 責任者	教員氏名	役職	研究指導 資格
病院薬剤学 分野	—	1 医薬品適正使用のための副作用調査研究	2,9	◎	田中 克巳	教授	マル合
		2 医薬品の治療効果と安全性評価（フォーミュラリー推進）	1-21		百 賢二	准教授	マル合
		3 薬剤師によるポリファーマシー対策の有用性の研究	3,10,11		黒沢 雅広	准教授	マル合
		4 プロトコール作成による薬剤師介入効果	4,5,6,13,15,20		縄田 修一	准教授	マル合
		5 抗がん剤使用における薬剤師の役割（安全性・経済性）	19		田中 広紀	准教授	マル合
		6 緩和医療における薬剤師の役割	9,13		藤原 久登	准教授	マル合
		7 小児医療における薬剤師の薬学的管理と専門性	2		阿部 誠治	准教授	マル合
		8 周術期における薬剤師業務活動の意義	6,9,13		柏原 由佳	准教授	マル合
		9 病院薬剤師業務とその効果の検証	3,12		嶋村 弘史	准教授	マル合
		10 チーム医療における薬剤師業務の有用性に関する研究	10,21,22		栗原 竜也	准教授	マル合
		11 精神科薬物療法における薬剤師の役割	8,11,16		杉沢 諭	講師	マル合
		12 腎臓病薬物療法における薬剤師の役割	1,2,5,9,10,14-17		内倉 健	講師	マル合
		13 保険薬局との連携における薬物治療への影響	14,16,17		渡邊 亜矢子	講師	マル合
		14 医療ビッグデータを用いた薬剤疫学研究					
		15 院内製剤を用いた医薬品開発					
		16 症例を起点とした医薬品の有効性・安全性に関する探索的調査研究					
		17 薬物濃度の測定に基づく医薬品の適正使用に関する研究					
		18 循環器医療における薬剤師の役割					
		19 抗菌薬適正使用における薬剤師の役割					
		20 がん治療における薬剤師の多角的介入効果の検討					
		21 薬物治療の有効性・安全性の関連因子の探索研究（疫学研究）					
		22 薬剤師の卒前卒後の臨床教育に関する研究					